

<間脳下垂体外科>

一般（教育）目標

下垂体腫瘍を代表とする間脳下垂体疾患の病態を理解すると同時に、内分泌的な事項、病理学的な事項を理解し、かつ治療としての外科的適応、手術手技を理解する事を基本的な目標とする。

（具体的）行動目標

(1) 基本姿勢

- ・病態の把握ができる病歴聴取を心がける。病態の理解を深める。

(2) 診察法・検査・手技

- ・内分泌代謝疾患の病態を評価するための検査計画が行える。
- ・手術を施行するための検査計画が立てられる。

(3) 症状・病態への対応

- ・行った検査の評価ができる。
- ・下垂体腫瘍を始めとする間脳下垂体疾患に対して画像検査、内分泌所見等基本的な評価と対処ができる。

学習方略(1)

- (1) 上級医の指導のもとで入院患者の診療を行う。受け持ち患者数は5-10人程度とする。
- (2) 週2回の部長回診に参加し、症例提示を行う。
- (3) 上級医の指導により、術前後の処置が実施できる。

学習方略(2) 勉強会・カンファレンス・学会など

- (1) 手術治療を必要とする症例について術前カンファレンスで提示を行う。
- (2) 上級医の指導により開催される勉強会に出席する。（平均週一回程度）
- (3) 興味を持った症例や病態に関して、上級医の指導のもとに自己学習した成果を勉強会あるいは関連する学術集会等で発表する。

週間予定

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|----|-----------------|----|------------------|-----------------|----|
| 午前 | 術前カンファレンス 手術 | 手術 | 病棟（手術） | 病棟 | 手術 |
| 午後 | 手術 | 手術 | 手術 | 病棟 | 手術 |
| 夕方 | 回診 | 病棟 | 内分泌合同 カンファレンス | 勉強会 | 回診 |
| | | | | 最終週のみ 研修医発表会 | |

EV 評価

PG-EPOC による評価方法（研修医⇔指導医）

※研修医は、各分野の研修終了後、速やかにその分野の自己評価を行い、PG-EPOC 評価システムに入力すること